

 **三協立山株式会社**

**三協立山株式会社**  
SankyoTateyama, Inc

## 建材用低炭素アルミ型材「Re-ALumi T50」

Low carbon aluminum profile for building material

# ReALumi T50



※ガラス、部品は除く

登録番号  
SuMPO-EPD-2601-85-1

検証合格日  
2026/1/21

公開日  
2026/1/29

検証有効期間  
2031/1/20

EPDタイプ  
グループ製品EPD

※更新された場合は初版公開日

追加の準拠規格  
ISO21930:2007

EPDは検証期間であっても、更新または公開が中止となることがあります。  
EPDの最新版および有効性を確認するには以下を確認してください。  
<https://ecoleaf-label.jp/epd/search>

## ●基本情報

### > プログラム情報

プログラム名称	SuMPO環境ラベルプログラム
プログラムオペレーター	一般社団法人サステナブル経営推進機構
所在地	東京都千代田区内神田1-14-8 KANDA SQUARE GATE 4F
ウェブサイト	<a href="https://ecoleaf-label.jp">https://ecoleaf-label.jp</a>

### > GPI・PCR情報

GPI	SuMPO EPD Japan General Program Instructions v.2.1.1
PCR名称	窓・サッシ
PCR登録番号	PA-212300-AD-05
PCR認定日	2023/5/10
レビューパネル委員長（所属）	神崎 昌之（一般社団法人サステナブル経営推進機構）
PCR有効期限	2028/5/10
PCR発行者	一般社団法人サステナブル経営推進機構

### > 検証情報

検証の種類	ISO14025及びISO21930:2007に従った第三者検証		
	<input type="checkbox"/> 内部	<input checked="" type="checkbox"/> 外部	
検証実施者（所属）	<input checked="" type="checkbox"/> 検証員による 第三者検証	<input type="checkbox"/> 検証機関による 第三者検証	<input type="checkbox"/> EPDシステム認証 による第三者検証
	古屋 暁子（イー・アンド・イー ソリューションズ株式会社）		

### > 準拠規格

準拠規格	<input checked="" type="checkbox"/> ISO14040:2006	<input checked="" type="checkbox"/> ISO14044:2006	<input type="checkbox"/> ISO14067:2018
	<input checked="" type="checkbox"/> ISO14025:2006	<input checked="" type="checkbox"/> ISO21930:2007	<input type="checkbox"/> ISO21930:2017
	<input type="checkbox"/> EN15804+A2	<input type="checkbox"/> EN50693:2019	<input type="checkbox"/> ISO/IEC63366:2025

EPDに記載の情報及びEPDに記載の情報に関する環境主張についての責任はEPD取得事業者が持ちます。EPDの内容に関するご不明点、確認事項については、EPD取得事業者までお問い合わせください。

EPDの比較は、建設製品の機能を十分に考慮した上で実施されなければならないため、建設製品における建材のライフサイクル全体を考慮し、建設製品において同等の用途を想定したシナリオを適用している必要があります。EPDの比較の際に考慮すべき条件は本宣言が使用するPCRを参照してください。EPDが宣言単位に基づいている場合、比較は機能単位あたりで行われなければなりません。

環境影響評価結果はあくまで相対的な数値です。数値の大きさにより環境への影響を一概に結論づけられるものではありません。また、算定した数値は環境への具体的な影響の大きさや安全性（閾値を超過しているか等）、リスク評価（環境や人間にどれだけの影響を及ぼすか等）を直接示すものではありません。

加重平均を用いた算定の場合、ライフサイクル影響評価結果及びライフサイクルインベントリ分析関連情報、廃棄物関連情報、出力フローに関する環境情報は、特定の製品についての情報ではありません。

## ●EPD取得事業者情報

事業者名・部署名	三協立山株式会社サステナビリティ推進部
住所	富山県高岡市早川 7 0
問い合わせ先	0766-20-2221
LCA算定実施者（所属）	三協立山株式会社 サステナビリティ推進部 喜多 和彦
事業者概要	三協立山の事業は、建材事業（住宅・ビル建材、エクステリア）、マテリアル事業（アルミニウム・マグネシウム合金の押出・加工）、商業施設事業（店舗什器・サイン）、そして海外でアルミ鋳造・押出・加工を行う国際事業の4つの領域で展開されています。これらの事業を通じて、人々の暮らしを豊かにする製品やサービスを提供しています。

## ●製品情報

製品名称		建材用低炭素アルミ形材「Re-ALumi T50」	
製品の型式		アルミ形材（中間財）	
製品仕様	製品機能	アルミ形材	
	製品質量	0.7kg ～ 47.1kg	換算係数 -
	製品の用途	アルミ製のサッシ、カーテンウォール等	
	技術性能	A6063に準拠したアルミ押出形材	
耐用年数	年数	30年間	
	使用条件	建物等の使用条件に準ずる	
	年数を設定した根拠	PCRIに準ずる	
製造サイト（製造拠点）		奈呉工場（富山県射水市奈呉の江8-3）、射水工場（富山県射水市奈呉の江13-3）	
製品概要		【製品の材質】アルミニウム 東海道新幹線の車両に使用されていたアルミをマテリアルリサイクルした「東海道新幹線再生アルミ」を50%使用したアルミ建材。	
製品ウェブサイト		<a href="https://www.st-grp.co.jp/story/realumi.html">https://www.st-grp.co.jp/story/realumi.html</a>	

## ●材料及び物質に関する構成要素

製品構成要素	割合 (%)	質量	
アルミニウム	98.8	1.E+00	kg
マグネシウム	0.5	5.E-03	kg
ケイ素	0.4	4.E-03	kg
その他添加金属	0.3	0.00	kg
包装材構成要素	割合 (%)	質量	
PEフィルム	37.5	5.E-03	kg
テープ類	32.1	4.E-03	kg
プラスチック資材	20.7	3.E-03	kg
紙類	9.6	1.E-03	kg

※ グループ製品に含まれる全ての製品は、同一の構成をしている。ただし、顧客の要望によって形材の断面形状・板厚が異なる。

## ●生物由来炭素含有量

項目	含有量 (kg-C)	含有量 (kg-CO <sub>2</sub> eq)
製品あたりの生物由来炭素含有量	0.00	0.00
提供元にわたる包装資材の生物由来炭素含有量	5.E-04	2.E-03

※ アルミ形材の加重平均値

## ●LCA 関連情報

### > EPDタイプ情報

EPDタイプ	製品タイプ	<input type="checkbox"/> 単一製品		<input checked="" type="checkbox"/> グループ製品		<input type="checkbox"/> 業界製品			
	サイトタイプ	<input checked="" type="checkbox"/> 特定サイト			<input type="checkbox"/> 複数サイト				
	開示方法	<input type="checkbox"/> 特定値		<input checked="" type="checkbox"/> 加重平均値		<input type="checkbox"/> 代表値		<input type="checkbox"/> 上限値	
地理的範囲		グローバル							
複数製品/複数サイトを 含むEPDにおける 代表性の説明		各製品で使用する原材料は同一であり、製造工程も同一である。最終的な形状はお客様の要望で変わるが、宣言単位あたりの原材料の投入量や生産工程で使用するエネルギー等消費量についても同じであり、EPDにおける代表性は確保されている。							
複数製品/複数サイトを 含むEPDにおける、算定結果の 上下幅に関する説明		申請製品は形状の異なる複数製品のグループ製品EPDであるが、各製品で使用する原材料は同一であり、製造工程も同一である。最終的な形状がお客様の要望で変わるのみであるため、宣言単位(1kg)あたりの算定結果が10%以内に収まるのは明らかである。							
複数製品EPDの説明		本EPDの公開内容は、アルミ地金および東海道新幹線車両をリサイクルした再生アルミを主原料とするアルミ形材である。同一のPCR、原材料構成、生産工程で製造された断面や厚みの異なるアルミ形材を1kgあたりに換算してEPDを開示している。							

### > LCA関連情報

宣言単位	kg		
宣言単位当たりの質量 (質量への換算係数)	-		
基準フロー (機能単位を満たすために必要な製品数)	-		
システム境界	<input checked="" type="checkbox"/> Cradle-to Gate	<input type="checkbox"/> Cradle-to-Gate with options	<input type="checkbox"/> Cradle-to-Grave
LCAソフトウェア	MiLCA ver1.2.1.7		
LCIデータベース	IDEA ver 3.4		
特性化モデル	GWP IPCC2021 with LULUCF 100a、LIME2		
その他のバックグラウンドデータ	-		
二次データ品質	GPIに規定の二次データ品質を満たしたデータを用いて算定を行った。なお、データ品質評価はISO 14044：2006（環境マネジメント—ライフサイクルアセスメント—要求事項及び指針）の4.2.3.6に従って行った。		
一次データ収集拠点	奈呉工場、射水工場		
一次データ収集期間	2024/8/1～2025/7/31		
生物由来炭素の取り扱い	<input type="checkbox"/> 0/0アプローチ	<input checked="" type="checkbox"/> -1/+1アプローチ	
電力契約に関する情報	使用有無	<input checked="" type="checkbox"/> 国や地域の平均的な電力ミックス	<input type="checkbox"/> その他
	種類	-	
	購入日	-	
	発行元	-	

### > 算定対象段階

資材製造段階			施行段階		使用段階							解体段階				境界外
					資材関連					光熱水関連						
A1	A2	A3	A4	A5	B1	B2	B3	B4	B5	B6	B7	C1	C2	C3	C4	D
原材料の調達	工場への輸送	製造	現場への輸送	施工	使用	維持保全	修繕	更新	改修	エネルギー消費	水使用	解体・撤去	廃棄物の輸送	中間処理	廃棄物の処理	潜在的な負荷と便益
■	■	■	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－

■：算定対象    -：算定対象外

## > アロケーション

本算定では、GPIに記載の手順でプロセスの細分化およびアロケーションを検討した。製造工程では、申請製品以外のアルミ形材が共製品として出力されるが、プロセスの細分化は困難である。当該プロセスから排出されるそれぞれのアルミ形材は経済価値は同等であることから、ユーティリティおよび副資材、梱包資材、廃棄物は、生産重量による物理量アロケーションを行った。

また、有価で売却する廃棄物（不要物）も出力されるが、申請製品と比較し経済価値は僅かであり製造目的ではないため、アロケーションを行わずに、システム境界内で申請製品がすべての負荷を負担する。

## > カットオフ

カットオフの対象としたプロセスはない。

## > システム境界

PCRに基づき設定を行い、Cradle-to-Gate（A1~A3）を評価範囲、A4-Dをシステム境界外とした。二次材料や二次燃料として扱われる廃棄物は、処理業者への輸送まで評価範囲に含めている。時間的システム境界は100年である。

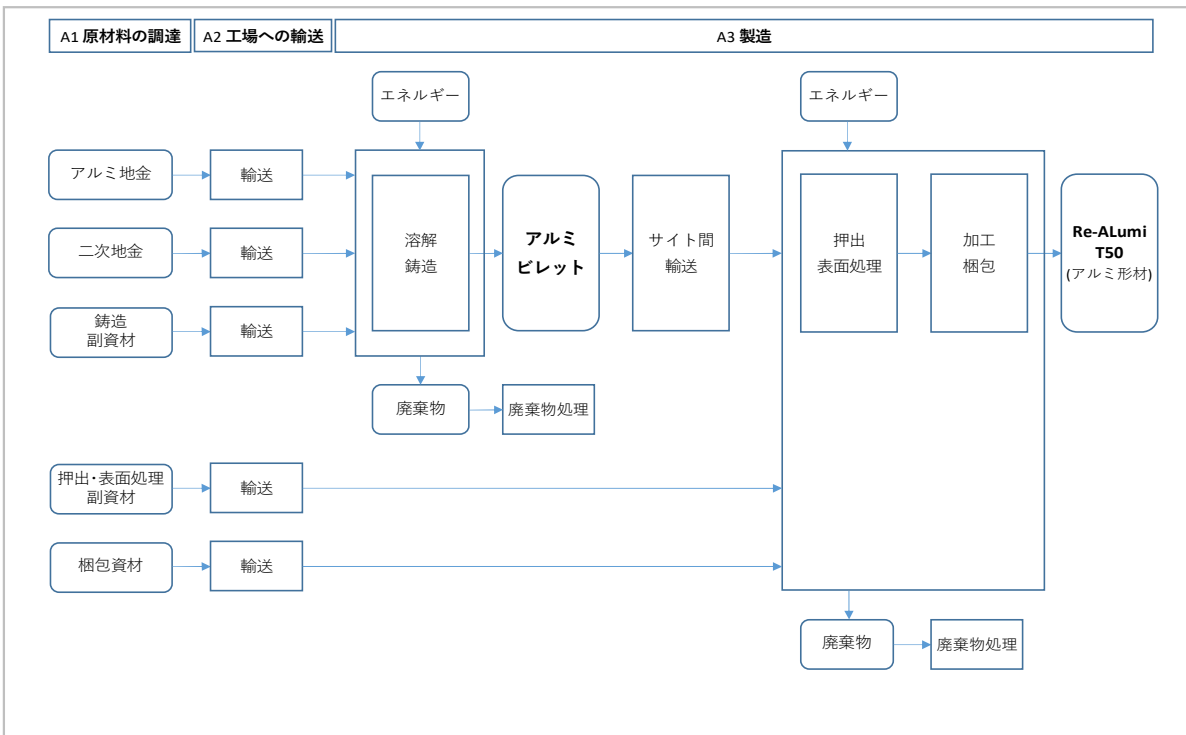
## > シナリオ

モジュール	説明
A2	主原料の輸送は、GooglemapまたはSeaRatesの距離を使用し、ヒアリングにより輸送手段・積載率を設定。その他は「窓・サッシ」PCRの附属書B 輸送シナリオによる。
A3	サイト間輸送は、Googlemapの距離を使用し、ヒアリングにより輸送手段・積載率を設定。その他は「窓・サッシ」PCRの附属書B 輸送シナリオによる。

## > 電力モデリング

工場の電力は、2021年における日本平均の系統電力のデータを用いて算出した。

## > ライフサイクルフロー図



[illegible][illegible][illegible]

＞ライフサイクルインベントリ分析関連情報—非生物資源-化石燃料、淡水の消費量

[illegible]

＞廃棄物関連情報

[illegible]

## ＞ 出力フローに関する環境情報

[illegible]



## > LCA算定結果に関する説明

- ・輸送シナリオの概要：主原料の輸送およびサイト間輸送は、GooglemapまたはSeaRatesの距離を使用し、ヒアリングにより輸送手段・積載率を定めています。それ以外はPCRシナリオに従って算定しています。
- ・原単位の不確実性：副資材および梱包資材において、使用したLCIデータベースに一致する原単位がない場合、近似の原単位もしくは対象を包含する原単位を用いており、資材特有の特性を反映していない場合があります。
- ・申請製品は受注生産品であり、通年では生産をしていないため、主原料であるアルミの投入量は、生産した月のデータを収集しています。ただし投入量は季節により変動するものではないため、大きな変動は生じません。
- ・申請製品とその他の製品は、主原料であるアルミの調達先が異なるだけであり、製造工程は同一のため、その他、製造に係わるデータは年間の工場データを使用しています。
- ・EPDは、状況が変化した場合、更新又は公開が中止されることがあります。EPDの最新版、及び有効性を確認するには、以下を確認してください。<https://ecoleaf-label.jp/epd/>

## ●追加環境情報

### > LCAに関連しない追加環境情報

ISO14001認証取得工場で生産しています。

### > 有害物質に関する情報

有害物質名	CAS No.	適用される基準または規制の参照
硫酸ニッケル	7786-81-4	化審法<優先評価化学物質>：工場で使用
ほう酸	10043-35-3	化管法<第一種指定化学物質>：工場で使用

建材および建設製品からの危険物質の放出

アルミ型材からの危険物質の放出は想定されません。

## ●用語の定義

## ●参考文献

- ・ISO14025:2006 Environmental labels and declarations — Type III environmental declarations — Principles and procedures
- ・ISO14040:2006 Environmental management - Life Cycle Assessment - Principles and framework
- ・ISO14044:2006 Environmental management - Life Cycle Assessment - Requirements and guidelines
- ・ISO 21930:2007 Sustainability in building construction — Environmental declaration of building products